



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)



平成30年8月9日

上場会社名 ぴあ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4337 URL <http://corporate.pia.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢内 廣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括 (氏名) 吉澤 保幸

TEL 03-5774-5278

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	49,557	2.2	592	110.1	598	107.9	427	132.3
30年3月期第1四半期	48,500	21.9	281	57.5	287	57.3	184	59.5

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 435百万円 (138.8%) 30年3月期第1四半期 182百万円 (59.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	30.59	
30年3月期第1四半期	13.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	60,349	7,582	12.4	536.61
30年3月期	55,488	7,329	13.1	518.84

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 7,499百万円 30年3月期 7,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		3.00		13.00	16.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	90,000	4.4	700	3.9	650	4.4	450	1.8	32.19
通期	165,000	0.9	1,250	2.0	1,200	2.3	700	0.9	50.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、決算短信(添付資料)7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご欄下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	14,649,513 株	30年3月期	14,649,513 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

31年3月期1Q	672,879 株	30年3月期	671,647 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期1Q	13,976,651 株	30年3月期1Q	14,151,275 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)株主資本において自己株式として計上されている役員株式給付信託(BBT)が保有する当社株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の収益改善とそれに伴う設備投資、雇用・所得環境の改善等により、緩やかな回復基調が続いております。国内レジャー・エンタテインメント市場におきましては、“コト消費”ニーズの高まりを背景に、引き続き近年のトレンドを維持し堅調に推移しました。

このような状況下、新たな中期経営計画の初年度にあたる当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、音楽ジャンルの大型興行やスポーツ、イベントジャンルを中心にチケット販売事業が好調に推移し、第1四半期連結売上高としては過去最高を記録し、これに伴い、営業利益も前期を上回り、前々期水準並みとなりました。

以上の結果、当社グループの第1四半期の業績は、連結売上高495億57百万円(対前年同期比102.2%)、営業利益5億92百万円(同210.1%)、経常利益5億98百万円(同207.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億27百万円(同232.3%)となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント>

「B'z」

「松任谷由実」

「シルク・ドゥ・ソレイユ・ダイハツ キュリオス」

「ap bank fes'18」

「嵐のワクワク学校 2018」

「ROCK IN JAPAN FES. 2018」

「長渕剛」

<商品>

「夏ぴあ」(首都圏版/関西版/東海版)

「パンダと犬」

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、603億49百万円となり、前連結会計年度末と比較して48億61百万円増加いたしました。流動資産は504億52百万円(前連結会計年度末比37億53百万円増)となりました。変動の主なものは、現金及び預金の増加(同62億22百万円)と売掛金の減少(同26億76百万円)であります。また、固定資産は98億97百万円(前連結会計年度末比11億7百万円増)となりました。

負債は、527億67百万円となり、前連結会計年度末と比較して46億8百万円増加いたしました。流動負債は522億1百万円(前連結会計年度末比46億4百万円増)となりました。変動の主なものは、買掛金の増加(同21億67百万円)、前受金の増加(同12億93百万円)と預り金の増加(同12億8百万円)であります。また、固定負債は5億65百万円(前連結会計年度末比4百万円増)となりました。

純資産は、75億82百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億52百万円増加いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益4億27百万円の計上と配当金1億82百万円の支払により利益剰余金が2億44百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想につきましては、2018年5月9日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,582	24,805
売掛金	25,287	22,611
商品及び製品	134	145
仕掛品	6	5
原材料及び貯蔵品	9	8
その他	2,712	2,908
貸倒引当金	△34	△31
流動資産合計	46,698	50,452
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	67	65
工具、器具及び備品(純額)	512	499
土地	6	6
その他	773	1,808
有形固定資産合計	1,359	2,379
無形固定資産		
ソフトウェア	2,359	2,983
ソフトウェア仮勘定	1,492	865
その他	59	59
無形固定資産合計	3,911	3,908
投資その他の資産		
投資有価証券	745	798
その他	3,082	3,120
貸倒引当金	△309	△309
投資その他の資産合計	3,518	3,609
固定資産合計	8,789	9,897
資産合計	55,488	60,349

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,326	43,493
未払金	2,516	2,338
未払法人税等	94	251
賞与引当金	8	10
返品調整引当金	562	292
その他	3,088	5,814
流動負債合計	47,597	52,201
固定負債		
退職給付に係る負債	102	107
資産除去債務	64	64
その他	395	393
固定負債合計	561	565
負債合計	48,158	52,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,903	4,903
資本剰余金	1,084	1,084
利益剰余金	3,796	4,041
自己株式	△2,488	△2,488
株主資本合計	7,295	7,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	30
為替換算調整勘定	△60	△62
退職給付に係る調整累計額	△10	△7
その他の包括利益累計額合計	△43	△40
非支配株主持分	77	82
純資産合計	7,329	7,582
負債純資産合計	55,488	60,349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	48,500	49,557
売上原価	45,563	46,013
売上総利益	2,937	3,543
返品調整引当金戻入額	475	562
返品調整引当金繰入額	300	292
差引売上総利益	3,112	3,813
販売費及び一般管理費	2,830	3,221
営業利益	281	592
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	4
持分法による投資利益	4	4
その他	1	1
営業外収益合計	10	10
営業外費用		
支払利息	0	—
有価証券評価損	2	—
支払手数料	—	1
その他	1	2
営業外費用合計	5	4
経常利益	287	598
税金等調整前四半期純利益	287	598
法人税等	99	165
四半期純利益	188	432
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	184	427

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	188	432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	1
為替換算調整勘定	△0	△0
退職給付に係る調整額	3	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△1
その他の包括利益合計	△5	3
四半期包括利益	182	435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178	430
非支配株主に係る四半期包括利益	4	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。